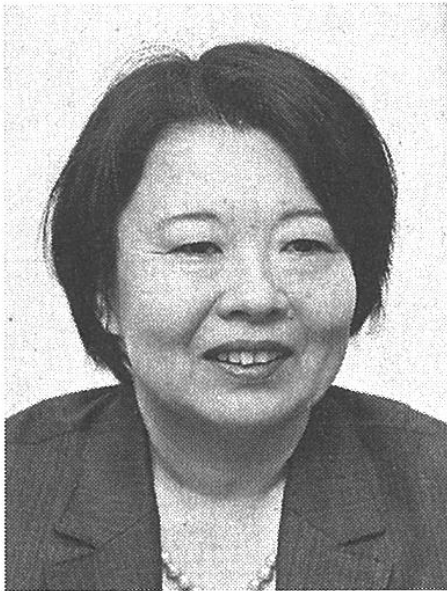


【オリエンタルコンサルタンツインディア社長 阿部玲子氏 発注者を全面的に支援
国内と海外は役割違う】

Key Person



オリエンタルコンサルタンツ
インディア社長(工学博士)

あべ 玲子氏

オリエンタルコンサルタ
ンツ・グローバルの発足に
合わせ、1日付でインド現
地法人の社長に就任した。
トンネル技術者として同国
で8年間、3件の地下鉄建
設工事に従事。デリー、バ
ンガロール、ムンバイの3
都市で多くの部下と共にプ
ロジェクトを進めてきた。
「海外では、発注者を全面

的に支援するのが建設コン
サルの仕事。国内と海外で
は果たすべき役割が違つと
いうことを、土木技術者を
目指す学生や若い技術者に
「伝えたい」と話す。

国内と海外は役割違う 発注者を全面的に支援

大学でトンネル工学を学
び、大学院の修士課程を修
了した後、ゼネコンに就職
した。当時は女性がトンネ
ル工事の現場に入ることす
ら許されなかった時代。思

った。海外留学をさせても
らった時点で、この道で生
きていくと心に決めた」。
経営者と技術者という二
足のわらじを履き、現地ス
タッフと共にインドの成長
を支えるインフラ整備に従
事する。「大学に入った時
から、女性初という言葉と
一緒に時間を過ごしてきた
ので、女性初の現法社長に
も抵抗感はない」。1年の
ほとんどを海外で過ごす生
活も「技術者として生き残
る道がそれしかなかったか
ら」と意に介さない。
後に続く後輩のためにし
っかりと足跡を残し、「い
つか自分の前に行く女性技
術者が出てきてほしい」と
望んでいる。

い描いた技術者としてのキ
ャリアを積むために選んだ
のは、海外という道だった。
ノルウェーへの留学、台
湾での高速鉄道建設と経験
を重ね、2004年にゼネ
コンから建設コンサルタン
トに転職。「負けず嫌いな
性格なので、どこまでやれ
るのかどうしても確かめた

望んでいる。